

伸びる。ともに伸びる 人を大切にする

自分で決める

問い続ける

◎成果目標 ◆指標	主な教育活動
◎ 学び方や解決の仕方を工夫する。 ◆ 『自分から問題を解決しようとする気持ちが高まった』と答える児童が85%以上	・学習場面において、主体的な学びを生み出す課題設定 ・「分かる、できる」を目指した授業の実施
◎ 正しいと思うことを自分で判断し、行動する。 ◆ 『正しいと思うことを自分で判断し、行動した』と自己評価する児童が85%以上	・いじめ見逃しゼロ強調月間の取組 ・「安心・安全ルール」をもとにした、正しい判断力の育成(廊下歩行、時間を守る、遊びのきまり)
◎ 自分の体力や生活習慣を見つめ、伸ばす項目を決めて、継続的に取り組む。 ◆ 『自分の体力や生活習慣を見つめ、運動したり生活したりできた』と肯定的に自己評価する児童85%以上	・体力づくりチャレンジ旬間の取組(体力テスト、持久走、縄跳び) ・がっちりカードを活用した取組

◎成果目標 ◆指標	主な教育活動
◎ 対話を通して考えを深める。 ◆ 『対話による考えの広がりや深まりを感じた』と肯定的に自己評価する児童が85%以上	・授業において、仲間と考えを組み合わせ、よりよい考えをつくる対話場面の設定 ・対話場面におけるタブレット端末やホワイトボード等の活用
◎ 自分や友達の良いところを見付け、違いを認める。 ◆ 『自分や友だちの良いところを見付けることができた』と、肯定的に評価する児童が85%以上	・縦割り班活動の実施(清掃、豊浦集会、学校行事等) ・日々の学習活動や学級活動での自他を認め合う活動 ・生活目標の取組(挨拶、他者理解、自己有用感)
◎ 自他の健康を考えて生活したり、運動したりする。 ◆ 『自他の健康を考えて生活できた』と肯定的に評価する児童が85%以上	・自他の健康について考える学習場面の設定 ・ハ(ハンカチ)、テ(ティッシュ)、マ(マスク)の携行

◎成果目標 ◆指標	主な教育活動
◎ 問いや願いをもって学習する。 ◆ 授業の「振り返り」で、次に学習したいこと、生活に生かしたいことを書く(話す)ことができる児童が85%以上	・授業や単元の終末における「振り返り」の時間の設定 ・家庭学習における自主学習の推奨
◎ 自己の言動を振り返り、よりよい自分を目指し行動する。 ◆ 『よりよい自分を目指し、行動することができた』と、肯定的に評価する児童が85%以上	・自分の生き方を問う道徳授業、人権教育、同和教育の実施 ・よりよい自分を目指すPDCAサイクルの構築
◎ 自分の体力や生活習慣がよりよくなるよう工夫して生活する。 ◆ 『自分の体力や生活習慣がよりよくなるよう工夫して生活した』と肯定的に自己評価する児童が85%以上	・学習カードやICT機器を活用した授業の実施 ・がっちりカードを活用した取組

生活科・総合的な学習の時間を中核とした 教科横断的なカリキュラム

中学校区、学校と家庭・地域との行動連携～Face To Face～

- 関係機関との連携**
「豊浦地区青少年健全育成協議会」
「豊浦地区公民館」「民生委員との懇談会」
- 豊浦中学校区保・小・中の連携**
「いじめ見逃しゼロスクール集会」
「新入生体験入学」
- 家庭・地域との連携**
「たより・HPでの情報提供」「メディアコントロール」
「見守り隊」「学習支援ボランティア」「後援会による環境整備」「とよらの日 あいさつ運動」



【道学共創】ひとが第一、ひとが大事 新発田の教育

～新発田への愛着と誇りをもち、夢や希望に向かって学び続ける子ども～

- 全校体制で育む確かな学力
学級経営の充実 学ぶ意欲の向上 主体的・対話的で深い学びの実現
- ふるさとへの愛着と誇りを育む「しばたの心継承プロジェクト」
- 生きる力を育む「食とみどりの新発田っ子プラン」
- 人権感覚を高める「人権教育、同和教育」

安心できる学習環境の整備

スムーズな学校生活のスタートを目指し、保育園等との連携を生かしたスタートカリキュラムに取り組みます。
互いに聴き合う関係づくりを重視した学級経営を行い、児童と教師、児童相互の信頼関係を築きます。
いじめ・不登校の未然防止と、早期発見・即時対応を図る生徒指導体制を確立します。
人権教育、同和教育、特別支援教育を中核として、一人一人を大切にする教育を推進します。
安全管理を徹底するとともに、自分の命を守る力を育てる安全教育の充実を図ります。